

《趣旨》御嶽山は噴火警戒レベル1で火山活動は静穏な状態だが、火口から概ね1km範囲内は必要な安全対策が整うまで立入規制を継続中。
御嶽山が再び安全に登れる山となることを目指し、立入規制解除に向け、概ね2020年度を目途に地元町村と長野県が安全対策を計画的に推進する。

基本方針

- ◎ハード・ソフト両面の安全対策を実施し、平成26年の噴火災害時よりも安全性を向上させる。
- ◎必要な安全対策が整った範囲から規制を解除（緩和）する。
- ◎火山活動に関する正確な情報発信・伝達を行う。

ハード対策

ポ
安全
イン
ト
対策

○火山活動の変化を的確に検知し、迅速に登山者等に伝達できる
○予測不能な突発的噴火の際、避難できる施設が整備されている
○噴火警報発表時、噴火時に登山者等が安全・迅速に退避できる

ソフト対策

《剣ヶ峰及び黒沢口登山道(二ノ池～剣ヶ峰)エリア》 ※火口から概ね1km範囲

ハード対策	実施主体	H29	H30	H31	2020年度以降
避難施設	御嶽頂上山荘	木曾町	解体撤去	シェルター整備 ☆	
	御嶽剣ヶ峰山荘	木曾町・王滝村	調査・施設取得	危険防止(一部撤去) ☆	解体、避難施設整備
	二ノ池本館	木曾町	改修(アラミド補強)	☆	
	石室山荘	木曾町	改修(アラミド補強) ☆		
	神社施設	御嶽神社 ※木曾町	解体撤去	(祈祷所再建、社務所改修) ※アラミド補強支援し緊急時避難施設にする	
避難路(登山道補修)	木曾町	二ノ池～剣ヶ峰	☆		
情報伝達設備	木曾町		屋外スピーカー設置	同報系防災無線整備	
			携帯電話電波状況調査	携帯電話不感対策(設計、基地局整備)	

【☆印】実施⇒規制解除①(二ノ池～剣ヶ峰)

《王滝頂上及び王滝口登山道(9合目～王滝頂上～剣ヶ峰)エリア》 ※火口から概ね1km範囲

ハード対策	実施主体	H29	H30	H31	2020年度以降
避難施設	パトロール待機所	王滝村	設置(9合目) ◆		
	王滝頂上山荘	王滝村	設計	解体、避難施設整備	
	王滝頂上山荘避難小屋	王滝村	設計	改修(アラミド補強) ◆	
	シェルター	王滝村		設置(王滝頂上) ◆	設置(八丁ダルミ) ◇
避難路(登山道補修)	王滝村	9合目～王滝頂上 ◆			王滝頂上～剣ヶ峰 ◇ 二ノ池トラバース ◇
情報伝達設備	王滝村			防災無線スピーカー移設 ◆	
					携帯電話不感対策

【◆印】実施⇒規制解除②(9合目～王滝頂上)
【◇印】実施⇒規制解除③(王滝頂上～剣ヶ峰)

登山指導所設置 ☆ [H30] ◆ [H31]
火山活動・規制等情報提供
登山計画書・安全装備確認

パトロール隊の配置拡充 ☆ [H30] ◆ [H31]
火山活動監視、登山者滞留防止指導

注意喚起標識の設置 ☆ [H30] ◆ [H30,31]
規制解除(緩和)エリア内

情報伝達手段確保 ☆ [H30] ◆ [H31]
山頂登山者等への警報等伝達ルート確立

異変検知時対処方針確立 ☆ [H30] ◆ [H30]
警戒レベル2未満の異変検知時の規制、退避誘導等の対処方針

避難計画等整備 ☆ [H30] ◆ [H30,31]
避難誘導マニュアル・訓練、避難促進施設指定、避難確保計画策定支援、地域防災計画の整備
*◇は◆に準じて2020年度以降を予定

情報発信、防災啓発・教育(平常時)

- ・火山活動、規制情報等リアルタイムの情報提供、御嶽山の魅力発信
- ・御嶽山火山マイスター養成、防災教育
- ・御嶽山ビジターセンター整備